

## “黑色旅游”

### だーくつーリズム ダークツーリズム



今年正逢战争结束 75 周年，然而却成了清一色的新型冠状病毒年，使得人们无暇顾及反思这段战争历史。随着时间的流逝，这场新型冠状病毒的全球大流行，会不会也成为历史中的一页呢？这种难以攻克的病毒的出现，使得过去多次反复发生的传染病的历史引起了人们的关注。有关鼠疫、西班牙流行性感感冒等的传染病流行时代的小说和书籍也变得畅销起来。

当对现实或是未来感到不安、恐惧时，人们就会试图通过追溯过去的记录、了解当时发生的事情来获得对未来的预测。如果能从这些被称为“负面历史”中学有所获，那这些“负面历史”就会成为人类战胜现实以及未来的苦难并且能顽强地生存下去的一种警示与启发。

2011 年 3 月，日本发生了东日本大地震，与此同时还发生了核电站的爆炸事故，对住民以及土地造成了前所未有的破坏。但随着时间的流逝，这些苦难和重创却从没有遭受过这场灾害的人们的记忆里逐渐远离。当地人为了不忘记这段历史，在重建家园工程还在进行的过程中，就开始举办访问受灾地区、请灾民讲述灾情等的配套旅行，还有人提出了将受灾地区设为“观光地点”的构想。在这种趋向的背景下，2013 年前后，在日本国内也开始听到“黑色旅游”一词了。



“黑色旅游”是一个表述观光概念的词汇，

今年（ことし）は戦後（せんご）75年（ねん）という区切り（くぎ）の年（とし）であるが、その振り返り（ふりかえ）もままならないほどに新型（しんがた）コロナ（ころな）ウイルス（ういる）一色（いっしょく）の年（とし）となっている。時（とき）がたてば、このコロナ（ころな）ウイルス（ういる）の世界的（せかいてきりゅうこく）流行（れいきし）も歴史（れきし）の一場面（いちばめん）となるのだろうか。この太刀打ち（たちうち）できないウイルス（ういる）の出現（しゅつげん）で、過去（かこ）に繰り返（かえ）された感染（かんせん）症（しょう）の歴史（れきし）が注（ちゅう）目（もく）された。ペスト（ペスト）、スペイン風（すぺいんか）邪（ぜ）など（など）の感染症（かんせんしょう）の時代（じだい）を扱（あつか）った小説（しょうせつ）や書籍（しょせき）がう（う）売（う）れた。

人々（ひとびと）は、現実（げんじつ）や未来（みらい）への不安（ふあん）や恐怖（きょうふ）に接（せつ）して、過去（かこ）の記録（きろく）を辿（たど）り、その時代（じだい）に起こ（お）ったこと（こと）を知る（し）ることで将来（しょうらい）への見通（みとお）しを得（え）ようとした（した）のだ（のだ）。「負（ふ）の歴史（れきし）」と言（い）われるもの（もの）は、そこ（そこ）に学（まな）べば現実（げんじつ）や未来（みらい）の苦難（くなん）を乗り越（こ）え、生き抜（い）くため（ため）のヒント（ヒント）となる（なる）。

2011年（ねん）3月（がつ）、日本（にほん）では東（ひがし）日本（にほん）大震（だいしん）災（さい）が起（お）こり、また同時（どうじ）に原子力（げんしりょく）発電（はつでん）所の爆（ばく）発（はつ）事故（じこ）も起（お）き、人（ひと）や土地（とち）に未曾（みぞう）有（ひがい）の被害（ひがい）が出（で）た。しかし、被害（ひがい）の当事者（とうじしや）とならな（な）かった人々（ひと）の記憶（きおく）は、どん（どん）どん遠（とほ）のいていく。現地（げんち）の人（ひと）たちは忘（わす）れ（れ）ずの流（なが）れに抗（か）して、復（ふ）旧（きゅう）もままな（な）らない中（なか）で、被災（ひさい）地（ち）への訪問（ほうもん）や体験（たいけん）者の語（かた）り（り）など（など）をセ（せ）ット（と）にした（した）ツアー（ツアー）を（を）行（い）い（は）じ（め）、被災（ひさい）地（ち）の「観（かん）光（こう）地（ち）化（か）計（けい）画（かく）」を考（かんが）える人（ひと）も出（で）てきた（きた）。そんな（そんな）中（なか）、2013年（ねん）ご（ご）ろ（ろ）に「ダ（だ）ー（く）つ（ー）り（ず）む」という（いう）言葉（ことば）が、日本（にほん）国（こく）内（ない）でもよく聞（き）かれるよう（よう）にな（な）った（た）。

「ダークツーリズム」とは、もともと 1990 年

源自于上世纪九十年代的英国。“ダーク”是“黑暗”、“阴暗”，“ツーリズム”是“观光”的意思。“黑色旅游”，是指到因灾难、战争、事故等导致许多人丧生、发生悲剧的现场拜访参观，铭记在那里发生过的不幸的事件，以传承历史记忆，是一种包含有学习意义的旅游方式。

作为“黑色旅游”的著名场所，有波兰的奥斯威辛集中营、日本广岛的原子弹爆炸圆顶屋和冲绳的“姬百合之塔”，除了与战争有关连的地方之外，还有因严酷的劳动现场而知名，现在已成为废墟的煤矿煤井旧迹、作为产业遗迹的大规模的工厂旧址、在高度经济增长过程中苦于公害的熊本县的水俣、栃木县的足尾铜山遗迹等。这些地方都有许许多多的人成为那个时代的“光明”背后的牺牲品，作为追溯那段“黑色”记忆的场所，各个地区至今仍然保留着这些遗迹。最近，随着人们对

“黑色旅游”关注度的高涨，到这些地区参观的人也越来越多了。



作为了解与我们有着密切关系的遗华日本人的场所有长野县阿智村的“满蒙开拓和平纪念馆”。这所纪念馆于2013年创建，开设纪念馆的地方是当时日本派遣满蒙开拓团员最多也是牺牲者最多的地方。今年纪念馆迎来了创建7周年。纪念馆所在地，说不上是交通方便的地方，但是每年都有约3万人次来纪念馆参观。2016年，当时的天皇还访问了这里。如果不亲自来这里探访，就无法切身感受这里的地形条件、村子里的风景。亲身体验保留在当地居民心里的那份记忆，会有一种仅靠文字无法体会到的现实感，并能真实地感受到那些故去的人们曾确实实地在这里生活过的情景。在这里也会经常举办由经历过那个时代的人主讲的报告

代のイギリスで生まれた、観光の概念を表す言葉だ。「ダーク」は「闇」とか「暗い」、「ツーリズム」は「観光」という意味で、「ダークツーリズム」とは災害、戦争、事故などで多くの人々が死んだり悲劇にみまわれたりした現場を訪れ、そこで起きた出来事の記憶を継承するという、学びを含む旅のことだ。

有名なところではポーランドのアウシュビッツや、日本では広島原爆ドームや沖縄の「ひ

めゆりの塔」があり、戦争関連以外では、過酷な労働現場として知られ、現在は廃墟となっている炭鉱跡や、産業遺跡としての



大規模工場跡、高度経済成長の中で公害に苦しんだ地でもある熊本県の水俣や、栃木県の足尾銅山跡等がある。それぞれの地には時代の「明」の裏側で犠牲になった人々が大勢おり、その「暗」の記憶をたどる場所を、今も地元に残している。最近はこの地の「ダークツーリズム」への関心の高まりとともに訪問者を増やしている。

私たちに関連深い中国残留邦人を知るための場所としては、長野県阿智村の「満蒙开拓平和記念館」がある。この記念館は、日本で最大の満蒙开拓団員を送り出し、多くの犠牲者を生んだ土地に2013年に開設された。今年7周年を迎える。地の利的には決して便利な場所とは言えないが、2016年には当時の天皇も訪問し、毎年3万人程度が訪れている。実際に行ってみなければわからない地勢的条件や村の風景、そこに住む人々の中に残る当時の記

会以及学习会。

“黑色旅游”大多是以与近代、现代的历史有关的场所为中心，正因为是近代的历史，所以在那些“黑色旅游”的场所还会有很多人因为那些悲剧，心灵的伤口还未能愈合。也有“利用人们的心灵创伤开展经济活动合适吗？”这样的意见。因此，有些场合，访问者在访问之前必须要有一定的心理准备并具备相应的背景知识。此外，也会有一部分人并不希望让自己生活的地方涂抹上“黑暗”的色彩。



但是，历史始终是有着光明与黑暗的两面，黑色旅游的场所也有“光明”的一面。上面提到的满蒙开拓和平纪念馆即是如此。纪念馆的附近不仅有丰富的自然风景和温泉，还有“日本观测星空的最佳景点”，是一个非常美丽的地方。

迎来战后75周年、在这世代交替的进程中，战争年代人们的记忆已经变得越来越难以传达给后代了。但是，像这些历史性的体验，正如上述那些曾经历过传染病时代的人们的记录一样，也会成为未来人类生活的一种智慧。今后，考虑如何把先人的经历传达给后代，在传承方式方面有必要下一番功夫吧！“黑色旅游”作为现代多元化的旅游之一，也可以说是传承历史记忆的一种方式吧！



あくはだかんもし  
憶を肌で感じることは、文字だけではわからない  
リアリティがあり、亡くなった人々が生きていた  
実感を得ることが出来る。ここでは、当時を生きた  
体験者による講話や、学習会も頻繁におこな  
行われている。

「ダークツーリズム」は、近現代の歴史にまつわる場所が中心で、まだ新しい歴史ゆえに、その現場には、悲劇による心の傷が癒えていない人々もいる。そのような人々の心の傷を経済活動に使ってよいのか、という声もある。したがって、訪問する側にも一定の心構えや背景知識が必要となる場合もあるだろう。また、生活する場に「ダーク」というイメージ付けをしてほしくないと思う人もいるようだ。

しかし、歴史には常に明暗の両面があり、ダークツーリズムの場所にも「明」の側面がある。先の満蒙開拓記念館も、近くには豊かな自然や温泉、「日本一の星空」を見られるスポットもあり、大変美しい所である。



戦後75年を迎え、世代交代していく中で、戦争体験者世代の記憶は伝わりにくくなっている。しかし、このような歴史的体験は、先の感染症の時代を生きた人々の記録のように、未来を生きる知恵にもなり得るものである。これからは、どうやってそれを伝えていくのか、その継承方法に工夫が必要となるだろう。「ダークツーリズム」は現代の多様化する旅の一つとして、歴史記憶の継承の一つの在り方といえるのではないだろうか。

(Bab)